

説明同意文書

眼窩脂肪ヘルニア手術を受けられる 患者さん、ご家族のみなさまへ

この説明書は、眼窩内腫瘍摘出手術について説明したものです。わからないことがありましたら、担当医にお尋ねください。治療を受けられる場合は「同意書」に署名をお願いいたします。

1. あなたの病名と現在わかっていること、病態

- 眼窩脂肪ヘルニア
- 眼球が骨に囲まれた部分を眼窩といいます。そこには眼球と眼球の働きを維持するための色々な組織（涙を作る器官、眼を動かす筋肉、視神経、視神経を保護する組織、脂肪組織など）が入っています。
- 眼窩脂肪が年齢とともにたるんで、前方に突出します。さらに骨の前面にある脂肪が萎縮するため、下まぶたのふくらみが明らかになります。皮膚のたるみも出現します。
- 脂肪の突出は上眼瞼にでることもあります。

2. この治療の目的・必要性・有効性

- 突出した脂肪が不快感の原因になっている場合には皮膚もしくは結膜からこれを切除します（脂肪切除法）。もしくは、脂肪の一部を骨の前面に移動することでまぶたのふくらみを改善します（脂肪移動法＝ハムラ法）。

- 皮膚のたるみが原因の場合には同時に皮膚の切除を行ったり、外眦をひっぱったり、二重まぶたを作成したりする場合があります。
- 他院での手術後の場合には眼窩内の瘢痕を切除したり、脂肪の再配置を行う場合があります。

3. この治療の内容と性格および注意事項

- 術中に眼瞼の形を確認するため主に局所麻酔で行いますがご希望によって全身麻酔で行うことも可能です。不安な方は全身麻酔（別料金）をお勧めします。
- 脂肪ヘルニアの場所に依りて下まぶたの裏の結膜や、睫毛下の皮膚の一部、目じりの皮膚や、上のまぶたの皮膚を切開します。手術中にヘルニアの広がりを確認しながら切除するため、切除範囲は手術中に決まります。上のまぶたの手術の場合には余剰皮膚の切除と二重まぶたを作成する場合があります。
- 手術後眼帯をし、その上から冷却が必要です。
- 術後 1 週間程度、軟膏を使用してもらいます。術翌日からシャワー浴・洗顔・洗髪は可能です。創部に汚れがたまると不潔になりますので、毎日表面を軽く洗い流すようにしてください。ただし強くこすることはおやめください。3 日後からは入浴と創部以外の化粧が可能です。約 1 週間で創部の化粧は可能です。術後大きく顔貌が変化する場合があります。また術後に腫れますので創部が醜く見える可能性があります。完全に腫れが消退し、完成した状態になるためには 6 か月が必要です。
- 術後徐々に傷痕は目立たなくなりますが場合によって傷痕が目立ったり、まぶたが固くなったりする（拘縮）ことがあります。ほとんどの場合には起こりません。
- 術後に傷が離解した場合は再度縫合処置が必要です。
- 感染などで眼窩蜂巣炎になることがあります。
- 手術を行ったとしても、皮膚の年齢による変化は残ります。
- 成功率を高める、もしくは術後出血を予防する目的でヒトの血液を使った接着剤（フィブリン糊・ベリプラス[®]）を使用することがあります。安全な製品ですが宗教などの理由で使えない場合にはおっしゃってください。
- 当院では多数の医師や看護師のチームで手術を行っており、保険の場合での術者指名は承っておりません。自費の場合には術者指名が可能です。

4. この治療に伴う危険性とその発生率

- 手術により創部が腫れます。腫れの消退は最初の 2 週間で 8 割程度改善しますが、完全な消退には約 6 ヶ月かかります。内出血が起こる可能性があります。その場合には

皮膚、結膜に最初赤いアザのようなものが出て、黄色く変色し重力に伴って下方に移動しながら3—4週間で消退します。血腫ができた場合は除去の処置が必要です。

- 術後には、白目（結膜）に浮腫が出現し涙目になる、物がダブって見える（複視）などの症状が出ますが、通常6か月程度で回復します。
- 手術直後の腫れやアザは日々刻々と変化していき3か月でほぼ完成します。途中の状態では最終結果を予測することが難しいため3か月目まで経過観察します。
- 術後、創部の感覚が麻痺します。麻酔薬による影響が大きいですが手術そのものによる麻痺の場合には6か月かけて徐々に改善しますが、残存することもあります。
- できるだけ左右差を少なくするように手術を行います。人体は元々左右非対称ですので完全に左右対称にはなりません。術後に左右差がある場合には再度縫合処置をしたり、再手術を行ったり、細かい凹凸の修正のためにヒアルロン酸を使用したりすることがあります。保険診療の場合にはその都度費用がかかります。
- 感染などで眼窩蜂巣炎になることがあります。
- 脂肪周囲には眼に関わる神経や筋肉があり、これらが障害され視力障害や複視、眼瞼下垂が出る場合があります。腫れの消退とともに治っていきませんが、残存した場合には別の手術を要する可能性があります。
- 創部の治り方は細胞レベルでまちまちで予測不可能です。このため術後傷痕が目立ち、ケロイドとなったり、きれいに治らなかつたりすることがあります。その場合、内服、軟膏などを使用したり、再手術を行ったりする可能性があります。
- 状態を良くするために術後に処置をすることがあります。
- 術中鎮静剤を使用した場合血圧低下、除脈、呼吸抑制などが起こることがあります。
- 術後の美容的な修正を保険診療で行うことはできません。
- 美容手術後の修正手術は、すべて自費になります。
- 手術は用手的なものであるため完成度には限界があり 100%完璧な状態になることはありません。（テストで100点を取り続けることが出来ないのと同様です）
-

5. 偶発症発生時の対応

万が一、偶発症が起きた場合には最善の処置を行います。

6. 代替可能な治療

- 程度が軽ければ、ヒアルロン酸注射によって改善できる可能性があります。
- 皮膚のたるみについてはレーザー治療が有効な場合があります。

7. 治療を行った場合に予想される経過

- 2週間程度で8割程度回復しますが、内出血が強い場合には3週間程度かかることがあります。通常1か月程度で良好な状態に戻ります。
- 術後に創部から出血が流れることがあります。出血があった場合には創部を軽く圧迫し安静にしてください。創内に溜まると除去手術が必要になる場合がありますが創外に流れることは良いことですのでそのまま止血するのを待ってください。

8. 何も治療を行わなかった場合に予想される経過

- 脂肪ヘルニアはゆっくり増大すると考えられます。

9. 患者さんの具体的な希望

治療に関して何かご要望があればお伝えください

10. 治療の同意を撤回する場合

いったん同意書を提出しても、治療が開始されるまでは、本治療を受けることをやめることができます。やめる場合にはその旨を下記まで連絡してください。

11. 連絡先

本治療について質問がある場合や、治療を受けた後緊急の事態が発生した場合には、下記まで連絡してください。

【連絡先】

住所：京都府京都市下京区貞安前之町 589

TM 四条寺町ビル 4 階

病院：オキユロフェイシャルクリニック京都

電話：0120-478-346

説明日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

説明医師： _____

* 説明同意文書は電子カルテにスキャンしてください。

同意文書

オキユロフェイシャルクリニック京都 院長 殿

私は、眼窩脂肪ヘルニア手術を受けるにあたり、下記の医師から、説明文書に記載されたすべての事項について説明を受け、その内容を十分に理解しました。また、私は、この検査（治療）を受けるかどうか検討するにあたり、そのための時間も十分に与えられました。以上のもとで、自由な意思に基づき、この治療・検査を受けることに同意します。

なお、説明文書とこの同意文書の写しを受け取りました。

- 病名・病態
- 治療の目的・必要性・有効性
- 治療の内容と性格および注意事項
- 治療に伴う危険性とその発生率
- 偶発症発生時の対応
- 代替可能な治療およびそれに伴う危険性とその発生率
- 治療を行った場合の予測される中長期的経過・予後
- 治療を行わなかった場合に予想される経過
- 患者さんの具体的希望
- 治療の同意撤回
- 連絡先

【説明】

説明年月日：令和 年 月 日

説明した医師：

同席者：

【同意】

同意年月日：令和 年 月 日

同意者（本人）：

* 患者さんに判断能力がない場合にのみ、代諾者が、自筆署名、もしくは記名押印してください。

（代諾者）：

（患者さんとの関係： ）

立会人：

（患者さんとの関係： ）

臨床倫理専門委員会承認 無断転載等ご遠慮ください